

【OIE 情報】韓国における口蹄疫（0 型）の発生について

韓国（慶尚北道）における口蹄疫（0 型）の発生について、2014 年 7 月 24 日付けで OIE へ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2014年7月24日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=15687

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1 件（緊急報告）
- ・発生日：2014 年 7 月 23 日
- ・OIE への報告日：2014 年 7 月 24 日
- ・血清型：0 型

【発生状況】

- ・慶尚北道（けいしょうほくどう） 義城（ウィソン）郡 比安面の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	1,500	3	0	0	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・現在疫学調査を実施中。感染動物は淘汰予定。

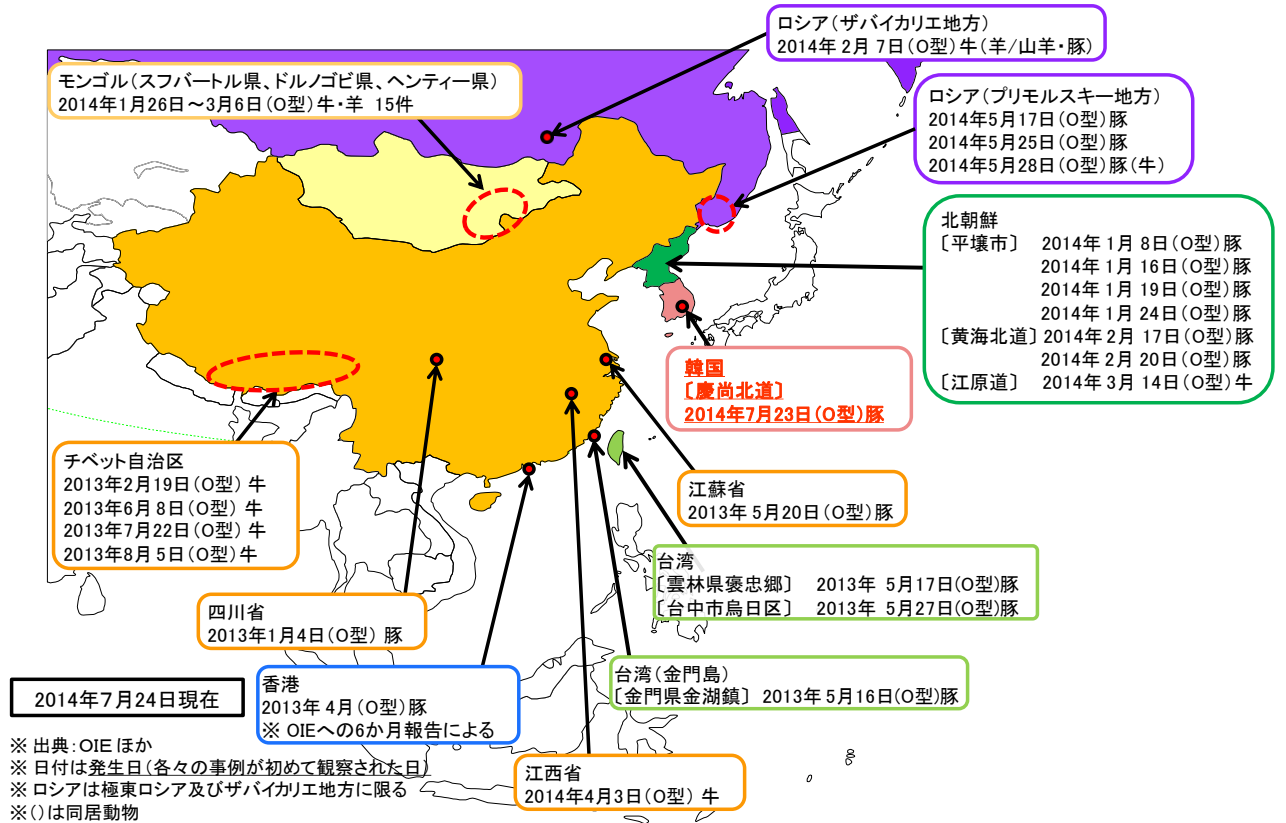
【対応】

- ・感染源となる野生動物のコントロール
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・ゾーニング
- ・発生に応じたワクチン接種
- ・施設等の消毒実施
- ・患畜を治療対象としない
- ・淘汰実施予定

【診断】

- ・診断施設：農林畜産検疫本部（国立研究所）
- ・診断法：ELISA、RT-PCR（いずれも陽性）
- ・確認日：2014年7月24日

【参考情報】中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫（O型）の発生状況（2013年1月以降の発生）



(参考1) 韓国でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

豚、牛、山羊及び鹿がA、O及びAsia-1型の混合ワクチン接種対象となっている。

(参考2) 中国でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿がO型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

(参考3) ロシア(極東ロシア)でのO型口蹄疫に関する情報

国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、O及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している。

(参考4) 香港でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての種豚及び12週齢以上の豚に対し、4か月ごとにO型口蹄疫ワクチン接種を実施。